

へき地教育研究指定校発表会



5日(土)の文化祭終了後、午後2時30分より国立教育政策研究所指定教育課程研究「へき地教育」の研究発表会を行いました。昨年度より2年間の指定を受けての研究発表でした。

研究テーマ『新たな時代を切り拓く「資質・能力」の育成～深い学びの視点からの教育活動の充実を通して～』のもと、研究主任の国吉真輝先生を中心に全職員体制で研究に取り組んできました。今回の発表では、生徒によるキャリアパスポートを活用した3年間の振り返りと、生徒と共に作る「資質・能力」と評価について、生徒たち自らの発表を含め、真輝先生が研究の取組・成果と課題について発表しました。生徒たちもパワーポイントをうまく活用しながら、分かりやすく発表していました。真輝先生の発表もとても丁寧で分かりやすい発表で、参観者からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。その後文部科学省国立教育政策研究所総括研究官の長田徹先生より講評と「震災の経験から」という演題でご講話いただきました。仙台出身で東日本大震災を直接経験された長田先生の貴重な体験から

つながるお話でした。文化祭の取り組みを進めながら、生徒も先生方も本当によく頑張ったと思います。「チーム船浦中」としての大きな成果だと思います。本当にお疲れ様でした。



野球部、準決勝敗退!



KBC杯新人野球大会、1回戦を勝ち抜いた本校野球部は、文化祭翌日の7日(日)に準決勝で石垣中学と対戦しました。1回戦の勢いで何とか接戦に持ち込みたかったのですが、石垣中の壁は厚く5回コールド負けという結果でした(石垣中が決勝でも勝利し優勝)。しかし、点差ほど力の差はあるとは思いません。ミスのない野球をすれば、十分互角に戦える相手だと思います。課題ははっきりしていると思います。それが克服できるよう年明けの地区新人大会に向けて再スタートを切りましょう!期待しています。

